

対象国の条件:

研修コース番号:201984633-J002

案件番号:201984633

主分野課題:民間セクター開発/中小企業育成・裾野産業育成

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

企業の生産性向上に資する日本の経営管理技術（主に製造業分野における5S、KAIZEN）を講義、演習、工場実習を通して実践的に学ぶことが本研修の特徴である。研修を通して得た知見を元に、パイロットとして選んだ自国の企業の経営改善を行うためのアクションプランを策定する。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 企業の生産性向上を促進する機関のコンサルタント/アドバイザーの経営管理技法が向上する。</p> <p>【成果】 ・講義、企業訪問、討議、工場実習を通して、生産性向上に必要な経営管理技術手法が習得される。 ・習得した経営管理技術を活用して、実習先の企業の生産性向上に対する改善提案を行うことができる。 ・自国の企業に対し経営管理の改善提案を行うためのアクションプランが作成される。</p>	<p>【対象組織】 企業/産業の経営管理、生産性向上を促進・実行する機関</p> <p>【対象人材】 <職位> 企業/産業（特に中小企業）の経営管理、生産性向上を促進・実行する職位にある者（人材育成の指導的立場にある者の参加が望ましい）</p> <p><職務経験> 1. 全社的経営管理 2. 工場レベルにおける生産性向上 3. 生産管理技術とその応用技法 4. 中小企業育成、について十分な実務経験を持つ者</p>

内 容	本邦研修期間	2020/1~2020/3
<p>・所属組織の現状、問題点をインセプションレポートとしてまとめる。 ・自分の業務で関わりのある中からパイロット企業を選び、その企業の現状、課題等を事前調査レポートとしてまとめる。（事前活動） ・日本的経営の特色及び企業活動に関する社会的支援体制、総合的経営管理と経営品質の向上、人材育成・経営戦略・付加価値分析、生産性向上手法（講義、演習） ・中小企業の現場改善による生産性向上活動の実践（実習） ・中小企業の現場改善提案の実施（実習） ・自国の企業に対し、経営管理の改善提案を行うためのアクションプランを作成する。 ・アクションプランに基づき、企業に対する改善提案を行う。</p>	担当課題部	産業開発・公共政策部
	所管国内機関	JICA東京（産業公共）
	関係省庁	
	実施年度	2018~2020

主要協力機関 公益財団法人日本生産性本部

特記事項及びホームページ